

2025 Executive Summary

チェアからのメッセージ

コンファレンスのチェアより、皆さまにお礼申し上げます。

ガートナー ITインフラストラクチャ、オペレーション & クラウド戦略コンファレンスにご参加いただき、誠にありがとうございます。東京で皆さまと直接お会いできたことは大変貴重な機会となりました。

参加者同士の交流、Gartnerのエキスパートによる最新のインサイト、先見のりリーダーからのインスピレーションを通じて、現在の環境で成果を上げ、今すぐ価値を生み出し、明日の変革につなげる力を得ていただけたのであれば幸いです。

皆さまの役割に対する要求が進化し続ける中、今回得た指針を以下の取り組みにお役立てください。

- 変化への対応にはレジリエントなインフラストラクチャ、自動化、ガバナンスが不可欠であることを踏まえ、I&Oにおけるエージェント型AIの具体的なユースケースを特定する
- 継続的なオペレーションに焦点を当てるために、テクノロジー・リーダーが導入する成熟した手法を取り入れ、絶え間ないイノベーションを推進し、オペレーションの安定性を確保する
- 新しいI&Oオペレーティング・モデルへ移行するためのロードマップを策定し、I&Oの新時代を主導する

改めまして、このたびはご参加いただきありがとうございます。皆さまがお越しくくださったことに、心より感謝申し上げます。ガートナー ITインフラストラクチャ、オペレーション & クラウド戦略コンファレンス2026で、またお会いできることを楽しみにしております。

山本 琢磨, コンファレンス共同チェア／ディレクター, アナリスト, Gartner
 マーク・マーガヴァチェス, コンファレンス共同チェア／バイス プレジデント, アナリスト, Gartner
 ダニエル・ベッツ, グローバル・コンファレンスチェア／バイスプレジデント, アナリスト, Gartner

Top takeaways

1

AIの進化により、I&O部門は迅速な対応を迫られている

自社におけるAIのユースケース、チームでのAIの活用、AIの価値に対する不確実性など、どのような懸念事項があったとしても、AIを導入することは避けられず、将来を見据えて組み込む必要があります。AIの導入を成功させ、AIがもたらす価値を高めるには、ロードマップを作成し、チームやステークホルダーとコミュニケーションを図ることが不可欠です。

- 【Gartnerオープニング基調講演】ハイプを乗り越え、I&O成功への戦略的道筋を描く
- 2026年のリーダーシップ・ビジョン：インフラストラクチャとオペレーション
- 可観測性におけるエージェント型AIの導入を成功させて価値を実現する方法
- エージェント・ネイティブなI&Oの未来に備える
- I&Oにおけるエージェント型AIの新たなユースケース
- 生成AIプロジェクトが失敗する理由のトップ10とその解決策

「AIエージェントは、クラウドとスマートフォンの登場以来の、I&O領域における最大のディスラプターになるとみられます」

ロジャー・ウィリアムス, バイス プレジデント, アナリスト
 Gartner

2

I&Oの運営の在り方に対する再考が急務となっている

組織の優先課題や運営状況が変化していることに加え、テクノロジーが絶え間なく進歩していることから、I&O部門も常に変化への対応を迫られています。チームが成功するために、必要なスキルを習得できる環境を整え、プラクティスと明確な方向性を示すことが重要です。

- 必須のI&Oスキル：現在と将来に向けて
- アジャイルとプロダクトのマインドセットを取り入れてI&Oを変革する方法
- デジタル・デリバリの民主化：ガバナンスと人材育成への対処
- 新たな時代に向けて獲得すべきマインドセット：2026
- 【ワークショップ】IT施策のビジネス価値を考える

「今後10年間で、社内のスキルと知識は、現状と大きく異なるものになるでしょう」

マーク・クリアリー, シニア ディレクター, アナリスト
 Gartner

3

I&Oを未来へ導くリーダーシップを発揮する

ビジネス要件の変化やテクノロジーの急速な進歩によってワークフォース計画が複雑化する中、I&Oリーダーは柔軟に対応できるビジョンを描くという課題に直面しています。現在のニーズにも将来のニーズにも対応できる人材とスキルを確保するには、戦略やロードマップを策定し、実行することが不可欠です。

- 2026年のリーダーシップ・ビジョン：インフラストラクチャとオペレーション
- アジャイルとプロダクトのマインドセットを取り入れてI&Oを変革する方法
- 【ワークショップ】新任のI&O統括責任者：価値実現のスピードを加速するための構造化されたアプローチ

「正しい目標に向けてビジネスを迅速に導くには、アジャイルとプロダクトの両方のマインドセットが必要です」

ダニエル・ベッツ, バイス プレジデント, アナリスト
 Gartner

4

コストと価値の最適化は、I&Oの基盤となる取り組みである

ビジネス価値を最大化するには、エッジ／クラウド／オンプレミスのインフラストラクチャ、AI、SaaSの資産全体で運用コストを最適化する必要があります。競争環境をつくり出すために、あらゆる価格や契約オプションを検討し、財務結果を追跡し、営業インセンティブを活用します。また、財務モデルを活用して交渉力を高め、必要に応じて契約を再交渉し、継続的な価値提供を確保するために、ベンダー側の仕組みを四半期ごとに調査する必要があります。

- ハイブリッド／マルチクラウド環境におけるワークロードの配置
- 規律あるITベンダー管理：削減できる「隠れた」コストを明らかにする
- コストを削減しながら、サービスデスクのパフォーマンスを向上させる
- テクニカル・インサイト：クラウド財務管理の成熟度ロードマップ

「既存のソフトウェア／SaaS契約は、AIを前提とした新しい視点で見直すべきです」

ベン・ジェブソン, シニア プリンシパルリサーチ, アナリスト, Gartner

5

レジリエンスと安全性に優れたインフラストラクチャを構築する

インフラストラクチャは、ITサービスを構築するための基盤です。AI主導の未来に向けて、信頼性、安全性、拡張性に優れたインフラストラクチャを提供する最新のプラットフォーム・アプローチによる設計が求められています。セキュリティ・リーダーやコンプライアンス担当者と協力して、セキュリティ、リカバリ、コンプライアンスのベスト・プラクティスを日常業務、インフラストラクチャ、プラットフォームに統合し、脅威やエクスポージャから組織を防御する必要があります。

- データセンターの未来：エネルギー不足、効率性、AI
- AIセキュリティ・オペレーションの基本を理解する
- 企業ネットワーク・トレンド：2026年
- 最適なSREチーム・トポロジを用いてレジリエンスの高い組織を編成する

「価値の高いユースケースを起点としてAIインフラストラクチャを設計し、目標をテクノロジー要件に落とし込み、トークノミクスを用いてキャパシティを計画します」

チラグ・デカテ, バイス プレジデント, アナリスト
 Gartner

「あなたの役割は、イエスカノーかを判断することではなく、取締役会に『聞いていなかった』と言わせないことです」

ポール・フルタード, バイス プレジデント, アナリスト
 Gartner

6

デジタル主権への対応には、懸念するだけの受け身の姿勢ではなく、能動的で実行可能な戦略が必要とされる

パブリック・クラウド市場の80%以上をAmazon、Microsoft、Googleが占めており、組織は重大なサプライヤー・リスクと限られた選択肢の問題に直面しています。オペレーションとデータを保護するためには、地政学的リスクを評価し、クラウド退出の条件を明確に定め、退出に必要なスピードと複雑性に合わせて投資を調整することが不可欠です。

- クラウド・コンピューティングとAIのトレンド：2026
- 「地政学リスク」がソフトウェア／クラウド・サービス契約に及ぼす影響とその対策
- 適切なレジリエンスを高めるデータ保護策をいかに確立するか

「デジタル主権とは、リスク・マネジメントに関することです。IT部門だけで意思決定すべきものではなく、ビジネス部門のステークホルダーも関与すべき重要な課題です」

アレッサンドロ・ガリンベルティ, シニア ディレクター, アナリスト
 Gartner



Save the Date!

2026年12月1日(火)から12月3日(木)に開催する [ガートナー ITインフラストラクチャ、オペレーション & クラウド戦略コンファレンス](#) へのご参加をお待ちしております。

日本を含む世界各地のGartnerコンファレンスについては、こちらの [カレンダー](#) からご確認いただけます(英語サイト)。